

買け子と二年間の短期間にと領軍の命令に於てP・T・Aが全国的にござるのございすすかやれだけに与えられP・T・Aという感じは十分とあるわけございすすか、またP・T・Aというものが阻いやくされて日本的に於ておりないというところが多しと思ひす。二つ一たことを契機といたし子とP・T・A自身がP・T・Aの姿はどうあるかというところから出發してそれから會費をお求めにたいだらいいんじやないかと二つ二つ助言を申しあげようと。いう方であるわけございすす。

三番(塩野鉄之助君) 下だい子の教育長の説明で大体わかり子下か。せつかく理事長がそういうことに好し子とて学校のい費、自己負担というところをお考えに下だい子下か、今後は是非二つ三つ課にやそ二努力願いたいと思ひす。この中にも校長の交際費が十六万は計上してありすすかP・T・Aの會費というところにありますとこの中の項目にあり子とて今子でP・T・Aの會費で負担してあるものが多々あると思ひすすか、そういう面においては今後ござるだけP・T・Aの會費が少額にもせしめるように教育長から二指導す



願いたいと思ひす。それからオ二年学あるいはオ一い学校の体育館がござる子とて予算が計上されてありすすか、この点については是非とも一般の客席は絶好に取りたいというところを強くアードして下だい子とて是非理事長にお願ひ申しあげるオオございすす。十番(岡 米吉君) 下だい子の私費解消につき子とては先程大野議員の一般質問の中におき子とて教育長が今後当分の間買掛金分はP・T・Aの皆さんには負担をかけないやうにとりうところが明示されてあり下だい子とて塩野議員の質問に好しとて答弁されておられるやうですが、細かいことにつき子とては私は特別にお願ひいたしたことは、このことにつき子とては非常に各場下において大きな関心をもたれたいと思ひすすか、この点につき子とては非常に理事長の方へオに敬意を表したいと思ひすす。と三つで私がお願ひいたしたことは、この内容につき子とては下だい子の塩野議員の二質問に好し子とていろいろ教育長がお答えはされ子とてうに、各学校におき子とて統一的には大に格差はないやうにございすすが、例えは学費をいかに取すりて二いかに取すりない

というふうないろいろの問題があるふうですが、教育長にお願いい下
ー下りなことは細かいデーターを十三日のP・T・Aにお話しするところ
うはご容赦をございませうけれども、この二つについては細かい資料が
あるほう是非全議員に配布していただくというところを是非お願い
いたします。

議長（田村匡雄君） ほかにありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田村匡雄君） 二つにて質疑を終結いたします。

おはかりいたします。議案第五十六号は別紙は託表のとおりそ
れぞれの委員会に分別託して詳細な審議を願うことにいた
ー下りと思ひますが二つに「異議あり」ありませんか、

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田村匡雄君） 「異議なし」と認めようと思ひたうございませう。

ほか委員会の審査報告は本会期中にお願いいいたします。

議長（田村匡雄君） 日程第七議案第五十七号契約締結に於て教育
関係諸題に於て議案の朗読をいたします。事務局として議案の朗読をいたさせ

ます。

（青山謙幸係長朗読） 省略

議長（田村匡雄君） 理事者から提案理由の説明を求めます。

（助役 森田幸造君登壇）

助役（森田幸造君） 議案第五十七号につきまして説明申し上げ
たいと思ひます。本議案は契約締結につきまして議会の同意をい
た下りために提案をいたしたものでございしますが、去る九月十四日当
収場におきましてゆふふ生や二中学校の屋外運動場新築工事の
本体工事、とりくに敷官室につきまして二つの入れを行ないました
ものでございします。規模は敷官室と本体工事の鉄骨平家部分と
合めまして七百二十平方メートル、これに於いて三つに分断に示すような株
式会社清水建設工業所以下六社を指名したうございする三回にわたる
競争入札を行ないました下りでございますが、落札者がございませ
んため、そのうち三回目の最低入札者でありました株式会社荒井組
に於いて三つで隨意契約をいたしたく二つに提案申し上げるわけで
ございします。契約金額は一千万六千六百元、工期につきましては

昭和四十二年十月三日から昭和四十二年二月二十八日まで、
二提案申し上げたに於て、おろしく二審議のうえに
下次のほどお願い申し上げる次第でございます。

議長（田村匡雄君） 二に於て質疑を行ないます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田村匡雄君） 二に於て質疑を終結いたします。

おはかりいたします。 下より三議題と存しております。議長五十七

七号に於ては二に同意することにご異議ございませんか、

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田村匡雄君） 二に異議なしと認めます。 五十七号は

二に同意することと決定いたします。

議長（田村匡雄君） 日程第八諸問第一号人権擁護委員候補者の推せ
んに関する意見聴取に於てを議題に供します。

平務局長より諮問の朗読をいたします。

（島田謙会事務局長朗読） 省略

議長（田村匡雄君） 理事者から提案理由の説明を求めます。

（議長 石川常太郎君登壇）

議長（石川常太郎君） お許しをいただきます。諮問第一号につきま
して説明申し上げます。人権擁護委員につきましても長い間、
ございまして、市民のみなさまにはご迷惑をおかけいたしまして、
けなされております。法務省の方面で人員の増加等がございま
す。先般東京に参りまして法務省に早く返すべく頼みかけ、とりあ
えず一人名にしておけと伺いまして、今回意見の聴取のため上程し
たわけでございます。この委員はやはりいろいろの方面にわた
りまして知識の豊富なお方ばかりはいないという見地に立ちま
す。いろいろ物色いたしたわけでございます。ただ、三議題上
の経歴もございまして、東京府の委員も長く、議員の経歴も
ございまして、助役も二期や三期の間に過ぎまして、推せん申
しあげたわけでございます。何とぞご意見を伺ひたいと思
ひます。と法務大臣に推せんをいたしたとき、考えてお
るわけでございます。おろしくお願いいたします。

議長(田村匡雄君) ニハナリ本件に於てご意見がありまうたうお願い
いたします。

(「是議否」と呼ぶ者あり)

議長(田村匡雄君) ニハにて意見を終結いたします。

おはかりいたします。 下ドリ議題とほりありまう諮問を号
にフリては諮問とあり決定することにご異議ありせんか。

(「是議否」と呼ぶ者あり)

議長(田村匡雄君) ご異議否と認めます。 ちろ諮問を一号に於ては
諮問とありニハに同意するニハに決定いたしちた。

議長(田村匡雄君) 以上でもう本日日程は全部終了いたしちた。
ちあ次の本会議は十月九日午前九時から開きまうのでまうめ
承願します。 本日はニハにて散会いたしちます。

午後六時三十二分散会



福生町議会



福生町告示第一四号

昭和四十二年福生町議会十月定例会をつぎのとおり招集する。

昭和四十二年九月二十八日

福生町長 石川 常太郎

一期 日 昭和四十二年十月二日
二場 所 福生町議会議場

福総発第 958 号

昭和42年9月1日

殿

監査委員 村野喜平 印
大野行夫 印

7月分例月出納検査実施結果報告

このことについて、つぎのとおり報告いたします。

- 1 実施日時 昭和42年8月25日(金)
午前9時から午後1時まで
- 2 場 所 福生町役場住民相談室
- 3 出席者 村野喜平 大野行夫
- 4 検査対象

- (1) 昭和42年度福生町一般会計
- (2) 昭和42年度福生町国民健康保険特別会計
- (3) 昭和42年度福生町と畜場特別会計
- (4) 昭和42年度福生町福生都市計画福生土地区画整理事業特別
会計

(5) 昭和42年度福生町公益質屋特別会計

(6) 昭和42年度福生町用品調達基金

(7) 昭和42年度福生町公益質屋基金

(8) 昭和42年度福生町水道事業会計

5. 結 果

関係帳簿及び証書類を審査の結果、良好であることを認める。

6. 参 考

昭和42年7月分歳入歳出現計表

(単位 円)

	6月末有高	歳 入	歳 出	7月末有高
一 般 会 計	40,514,925	48,074,117	28,678,315	59,910,727
国 保 会 計	4,780,995	16,823,140	7,287,195	14,316,940
と 畜 場 会 計	5,122,618	959,850	1,153,037	4,929,431
区画整理会計	25,191,074	0	13,676,234	11,514,840
公益質屋会計	199,401	71,379	72,590	198,190
用品調達基金	110,970	185,935	34,600	262,305
公益質屋基金	43,550	1,155,900	725,700	473,750
小 計	75,963,533	67,270,321	51,627,671	91,606,183
水道事業会計	26,138,782	16,339,763	11,802,199	30,676,346
合 計	102,102,315	83,610,084	63,429,870	122,282,529



福総発第 / / / 3 号

昭和42年9月28日

殿

監査委員 村 野 喜 平印
大 野 行 夫印

8 月分例月出納検査実施結果報告

このことについて、つぎのとおり報告いたします。

1. 実施日時 昭和42年9月25日(月)
午前9時から午後1時まで
2. 場 所 福生町役場住民相談室
3. 出席者 村 野 喜 平 大 野 行 夫
4. 検査対象
 - (1) 昭和42年度福生町一般会計
 - (2) 昭和42年度福生町国民健康保険特別会計
 - (3) 昭和42年度福生町と畜場特別会計
 - (4) 昭和42年度福生町福生都市計画福生土地区画整理事業
特別会計

(5) 昭和42年度福生町公益質屋特別会計

(6) 昭和42年度福生町用品調達基金

(7) 昭和42年度福生町公益質屋基金

(8) 昭和42年度福生町水道事業会計

5. 結 果

関係帳簿及び証書類を審査の結果、良好であることを認めるが、公益質屋事業において基金の増額をはかり、さらに健全なる運営に努力されるよう、要望いたします。

6. 参 考 昭和42年8月分歳入歳出現計表

(単位 円)

	7月末有高	歳 入	歳 出	8月末有高
一 般 会 計	5,991,072.7	21,207,069	35,111,345	4,600,645.1
国 保 会 計	14,316,940	2,734,244	7,108,916	9,942,268
と 畜 場 会 計	4,929,431	1,556,600	1,611,354	4,874,677
区画整理会計	11,514,840	3,003,812.6	3,352,380.2	8,029,164
公益質屋会計	198,190	826.25	88,717	192,098
用品調達基金	26,230.5	105,146	160,290	207,161
公益質屋基金	473,750	753,400	885,700	341,450
小 計	91,606,183	56,477,210	78,490,124	69,593,269
水道事業会計	30,676,346	6,816,306	11,160,850	26,331,802
合 計	122,282,529	63,293,516	89,650,974	95,925,071

第三回梅生町議会定例 会誌録 (第十一号)

昭和四十二年十月九日梅生町議会議場に第三回梅生町議会定例 会が開催された。

出席議員は次のとおりである。

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 一番 杉本 賢雄 君 | 二番 松本 平九郎 君 | 三番 伊東 忠次郎 君 |
| 四番 石川 繁治 君 | 五番 小林 暢吉 君 | 六番 高橋 子春 君 |
| 七番 仲 次弘之 君 | 八番 中 里 元一 君 | 九番 大野 行夫 君 |
| 十番 川 杉 重雄 君 | 十一番 中 西 虎 藤 君 | 十二番 小 堺 仁七 君 |
| 十三番 中 村 国太 君 | 十四番 末 次 性男 君 | 十五番 森 田 秀雄 君 |
| 十六番 加 藤 清一 君 | 十七番 水 谷 清一 君 | 十八番 — 君 |
| 十九番 高 浪 忠 君 | 二十番 石川 信義 君 | 二十一番 大 塚 秀伍 君 |
| 二十二番 塩 野 鉄之助 君 | 二十三番 岩 田 博 君 | 二十四番 田 村 匡雄 君 |
- 欠席議員は次のとおりである。

関 米吉 君